



表紙：マグロの完全養殖（提供：近畿大学水産研究所）

449 **巻頭言** 『神業』を使いこなす高邁な哲学を持って
稲盛和夫

453 **論説** 若者は「外」へ出せ；国際交流がなぜ大事か
黒川 清

455 **OVERVIEW** “海の幸”の安定供給を目指して
新たな魚類養殖技術

460 **特集**

走査プローブ顕微鏡を使いこなす

走査プローブ顕微鏡は、小さな分子も生体分子も観察でき、物質間相互作用や電気特性、光学特性も測定できる…はずだ。しかし一般ユーザーにとっては、必ずしも容易ではない。そこで本特集では、走査プローブ顕微鏡を使いこなしている研究者に、その「コツ」を解説していただく。〔担当：立間・小佐野〕

1 原子間力顕微鏡 (AFM) で生体分子を見る
中野幸二

2 走査型トンネル顕微鏡 (STM) で分子を観る
——分子を観るための基板・試料作成の実際
米田忠弘

3 原子間力顕微鏡 (AFM) により相互作用力を測定する
水上雅史

4 液中走査フォース顕微鏡 (SFM) で高分子界面物性を測る
藤井義久・田中敬二

5 ケルビンプローブフォース顕微鏡 (KPFM) を使いこなす
大西 洋

6 近接場光学顕微鏡 (SNOM) を使いこなす
井村考平

472 **委員長の招待席** 世界化学年に寄せて——化学は面白いのか?
獨古 薫

474 **私の自慢** 常識の非常識——喧嘩のススメ
福住俊一

484 **Opening Article** Hold on to the noble philosophy that commands
“technologies of God”
Kazuo INAMORI

485 **Commentary** Send young people “outside”! Why international exchange is
important
Kiyoshi KUROKAWA



キュリー夫人が晩年住んでいた (1912～1934) パリ、サン・ルイ島の自宅 (提供：吉祥瑞枝)



タイの養殖 (上) と、養殖されたカンパチ (下) (近畿大学水産研究所にて漆原次郎撮影)

平成 23 年度化工誌編集委員会

委員長: 西郷和彦 理事: 佐々木俊夫

委員: 獨古 薫 / 松見紀佳 / 務台俊樹 / 山崎友紀 / 植村卓史 / 小佐野康子 / 蟹江澄志 / 中野幸司 / 中村 聡

幹事委員: 岡村 寿 / 大越慎一 / 宮崎あかね / 小島英理 / 立間 徹 / 土岐育子 / 板垣 誠

★化工誌記事についてのお問合せ E-mail: kakoshi@chemistry.or.jp

デザイン (株) マツダオフィス

477 支部だより
備えあれば… 東北支部
名古屋工業大学「化学公開セミナー」 東海支部
大学の存在意義を自問する 近畿支部

480 部会だより
関西支部の活動 コロイドおよび界面化学部会

481 BCSJ 賞/CL

482 CCI サロン
ケミストの趣味 堀内照夫

483 編集後記

487 会告(次号予告)

488 お知らせ
行事一覧
講習会・講演会
研究発表会——発表募集
研究発表会——プログラム

515 掲示板

516 求人・求職

次頁 広告索引・広告資料請求用紙 (ご活用下さい)

